

コロナウイルスと『がん』①

新型コロナウイルス感染症（covid 19）は、基礎疾患がある方は重症化しやすいと言われています。「がん」についても同様で、患者さんやご家族から不安の声を伺うことがあります。新型コロナウイルス感染症についてはまだ不明なことが多いですが、がん患者さんが気をつけるべきことなどを、現在分かっている範囲でご紹介致します（以下、がん関連3学会が出している患者さん向けの情報を参考にしています）。

がん患者がコロナにかかると重症化しやすいですか？

WHOと中国からの報告によれば、コロナに罹患したがん患者さんの致死率は7.6%であり、他の病気がない方の致死率の1.4%に比べ高い割合となっています。がん患者さんは健康な方よりコロナに注意が必要と言えます。

なお、他の疾患だと高血圧8.4%、糖尿病9.2%というデータが示されています。

がん患者はコロナにかかりやすいですか？

現時点では明確な答えがありません。しかし、がんそのものや化学療法などで免疫機能が低下することが分かっていますので、感染予防が重要なことは間違いありません。マスク着用、手洗いうがいの推奨、3密をさけるなどの自衛を行なってください。また、そうした取り組みは同居のご家族などにも協力してもらいましょう。

がんの手術は延期すべきでしょうか？

がんの種類やリスクによって個別に判断されるべきですが、コロナの流行期などは緊急性の低い手術は延期をしたり、術前の薬物療法を検討するなど、手術以外の方法を優先することがあります。

放射線療法も開始の延期を検討する場合がありますが、根治が望める照射は実施が望ましく、すでに開始している照射も可能な限り継続が望ましいと言われています。

抗癌剤治療中の外来受診は、通常通りで大丈夫？

検査や薬剤投与については、通常通りが望まれます。個人差があり、体調も変化しますので、主治医とよく相談しましょう。病院スタッフとの電話相談で対応できる場合もあります。

※白血球減少など免疫力の低下がおこる場合がありますので、外出自粛や手洗いなどの感染対策を十分に行うことが大切です。

もっと知りたいという方は、お気軽にお電話ください。

当がん相談支援センターではメールでの相談にも対応しています。



高知大学医学部附属病院 がん相談支援センター

TEL088-880-2179（平日8:30～17:15）

当センターホームページ→

